

# 2015年度 上期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

連 結	2014年度	2015年度	前年同期比
売 上 高	16,377	16,062	▲315
営 業 利 益	42	17	▲25
経 常 利 益	▲ 19	▲ 47	▲28
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 69	▲ 41	+27

為替レート

\$=103.60円  
¥=0.1009円

\$=121.73円  
¥=0.1069円

- **売上高**は、機能性樹脂が増加したものの、機能性色素、アグロサイエンスが減少し、315百万円の**減収**
- **営業利益**は、売上原価が減少したものの、売上の減少をカバーできず、25百万円の**減益**
- **経常利益**は、営業利益が減少し、営業外では、退職給付費用が減少したものの、為替差損が発生し、28百万円の**減益**
- **親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益が減少したものの、27百万円の**増益**

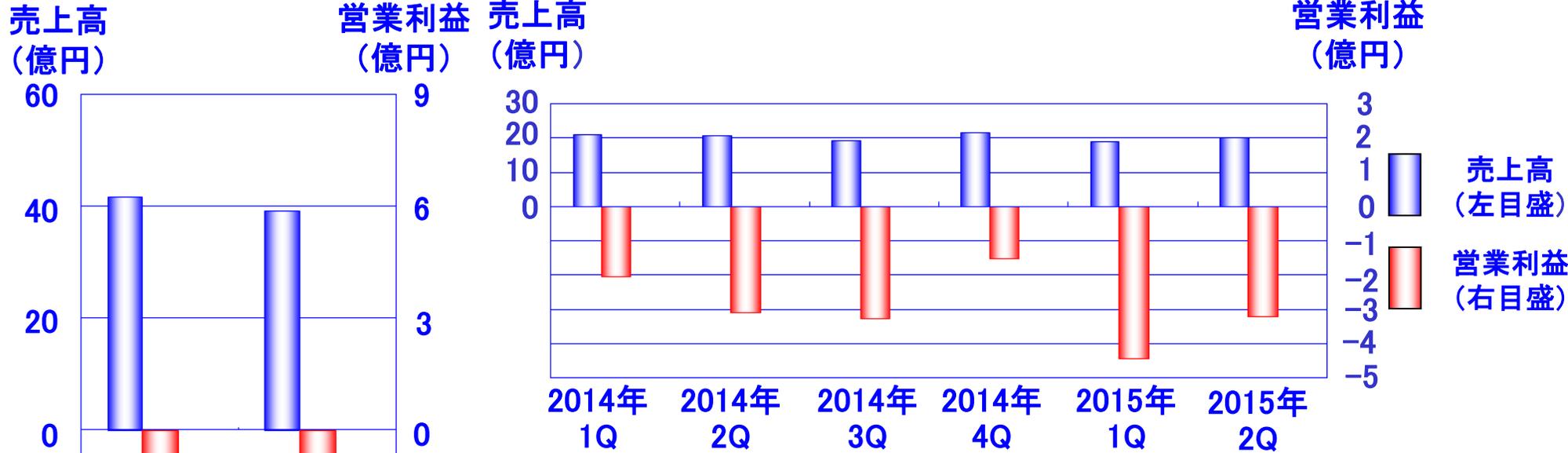
セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	正孔輸送材料、電子輸送材料、発光材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建 材	ウレタン系・セメント系の土木・建築用材料、防水・止水工事
	特殊化学品	ホスゲン誘導品(医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体)
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬等	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
その他		危険物物流、受託試験

単位：百万円  
 表示：百万円未満切捨

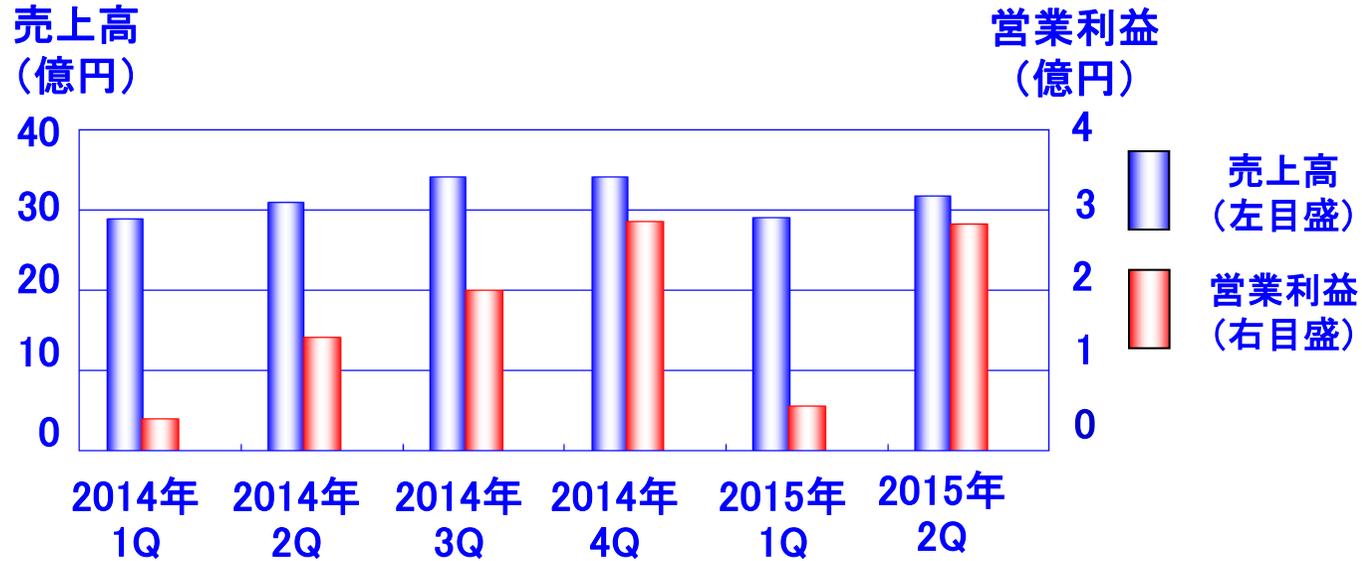
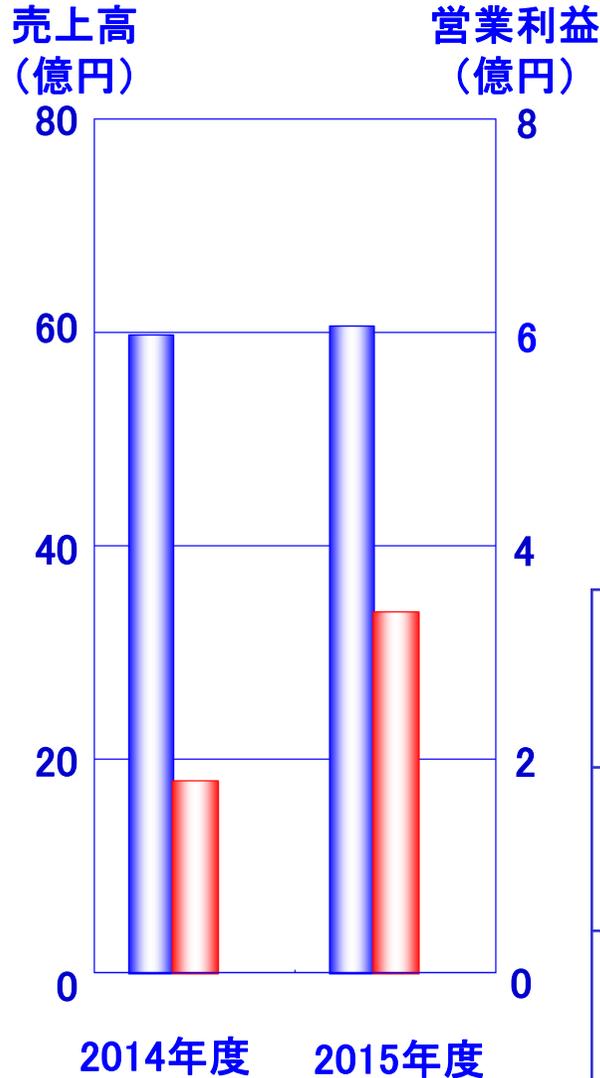
セグメント	2014年度	2015年度	前年同期比
機能性色素	4,186	3,928	▲258
機能性樹脂	5,989	6,079	+90
基礎化学品	3,394	3,376	▲18
アグロサイエンス	1,744	1,640	▲103
その他	1,061	1,036	▲25
合計	16,377	16,062	▲315

単位：百万円  
 表示：百万円未満切捨

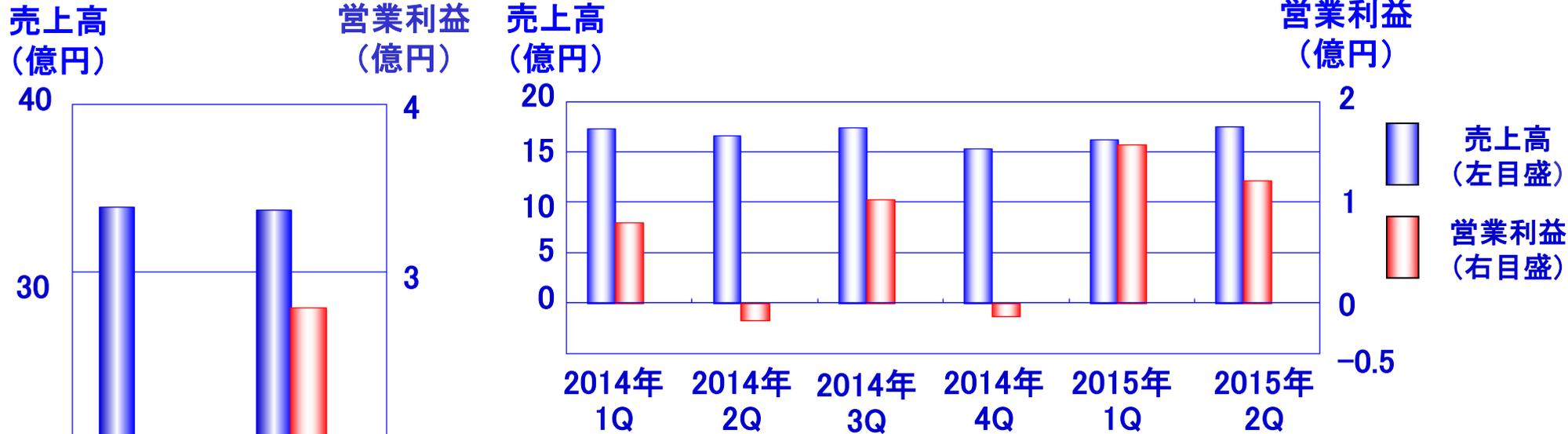
セグメント	2014年度	2015年度	前年同期比
機 能 性 色 素	▲ 513	▲ 764	▲250
機 能 性 樹 脂	181	339	+157
基 礎 化 学 品	63	279	+216
アグロサイエンス	49	▲ 25	▲74
そ の 他	261	188	▲73
合 計	42	17	▲25



有機EL材料	・スマートフォン向け需要の減少に加え、競争激化により、減収	↓
イメージング材料	・プリンター向け材料で厳しい状況が継続したが、一部で新製品が採用され、前年同期比並み	→
色素材料	・デジタル家電向けアルミ着色染料は、好調に推移し、食用色素も需要が回復したが、その他染料で海外向けの需要が大幅に減少し、前年同期比並み	→



樹脂材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウレタン原料は、国内外で安定した需要が継続したことに加え、期初に建築用途向けが増え、増収</li> </ul>	↗
建材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・止水材料・工事が、引き続き好調に推移したが、防水材料・工事が低迷し、前年同期比並み</li> </ul>	→
特殊化学品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品分野は、堅調に推移したが、その他の分野で、顧客の在庫調整があり、前年同期比並み</li> </ul>	→



過酸化水素	・紙パルプおよび環境分野向けの需要が、 堅調に推移し、増収	
誘導品（※）	・需要が減少し、減収	
工業薬品	・一部製品の競争激化により、減収	

※過炭酸ナトリウム、過酢酸

